

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 14 日現在

機関番号：14301

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2012～2013

課題番号：24830042

研究課題名(和文) Closing the Human Rights Gap in Asia

研究課題名(英文) Closing the Human Rights Gap in Asia

研究代表者

Croydon Silvia (Croydon, Silvia)

京都大学・学内共同利用施設等・助教

研究者番号：00634643

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,400,000円、(間接経費) 720,000円

研究成果の概要(和文)：この研究の貢献は次の二点である。第一に、ボトムアップ型人権擁護組織であるアジア太平洋フォーラムの発展を紹介したことである。当フォーラムの機能は地域人権擁護組織のそれによく似ているが、東アジア国際関係において最有力国であろう日本、中国と台湾による、国内人権擁護委員会への参入を、まだ確保できていないことが大きな欠点であると結論した。第二に、東アジアの人権擁護欠陥を克服する有力な方策として、共益関係にあるASEAN政府間人権委員会と当フォーラムが共働するという進路を提案したことである。

研究成果の概要(英文)：The contribution of this research is twofold. Firstly, it introduced the development of the Asia Pacific Forum of National Human Rights Institutions (APF) as a bottom-up type of regional human rights organisation. Secondly, it suggested that even though there are shortcomings to both the APF and ASEAN, the mutually propelling developments of these co-existing organisations in East Asia improves the prospects for filling the gap with regards to a human rights mechanism in the region.

研究分野：International Relations

科研費の分科・細目：International Relations

キーワード：東アジア 人権擁護 人権擁護組織 アジア太平洋フォーラム ASEAN政府間人権委員会

1. 研究開始当初の背景

人権は人種、宗教、国籍に関わらず、尊重される権利である。現在、国連は、国境を越えた共通のルールで人権を守るために活動しているが、ニューヨークとジュネーブにしか活動拠がない為、世界各地にまで目が届かない状況である。そのため欧州では、第二次世界大戦後欧州人権裁判所を設立し、欧州の各政府に対して、共通のルールで人権を守るように要請している。現在では、アメリカ、アフリカ、中東等でも各地域で人権を擁護する体制があり、それぞれ活動を行っている。しかしながら、世界人口の内60%にも及ぶ東アジア地域では、そのような組織は存在せず、現在、導入が求められている。

2. 研究の目的

本研究は、東アジアのこのような人権擁護組織の欠陥がアジア太平洋フォーラムと東南アジア諸国連合がそれぞれとった最近のイニシアチブで克服し得るかどうかを確定することを目的とした。東南アジア諸国連合イニシアチブが政府間のものであるの比べ、アジア太平洋フォーラムが各国の政府から独立した国内人権擁護委員会から構成されているため、特に関心を集めている。

3. 研究の方法

前述した目的を達成するために、本研究は、まずアジア太平洋フォーラムの設立・発展を詳しく調査し、構成する国内人権擁護委員会の中から代表的なものを選び、その機能とフォーラム全体への貢献を診断した。この作業が完成された上で、アジア太平洋フォーラムのメンバーにまだなっていない日本、台湾と中国における国内人権擁護委員会の設立過程を探った。アジア地域で最も重要な役割を果たしているその三つの国が独立した国内人権擁護委員会を設立し、アジア太平洋フォーラムに参加することによって、当フォーラムの地域人権擁護機関としての立場・認識が確定すると思われる上で、これらの過程を分析することが重要である。

二つ目の ASEAN 政府間人権委員会というイニシアチブに関しては、実績を評価した。日本国内と海外で行ったフィードワークで収集した

データを分析した。

4. 研究成果

第一に検討したのは、1993年に鳴り物入りで始まった東南アジア諸国連合の人権擁護組織設立プロジェクトである。当連合が、東北アジアにある日本、中国と韓国の3か国とも協力枠組みを持っている為、東アジアの包括的人権擁護組織の展開が期待される。しかし、20年も前に始まったこの計画はまだ実現を見ていない。長い過程の末ようやく設立された ASEAN 政府間人権委員会は、法的拘束力を有する判決も下せず、人権を擁護した事例は一つもない為、説教以上のことができない。

第二に検討したのは、上記の政府間のイニシアチブと違って各国の政府から独立した国内人権擁護委員会から構成されたアジア太平洋フォーラムである。当フォーラムは1996年に設立されてから東南アジアのほぼ全ての国から国内人権擁護委員会を受け入れ、活動内容の多様化や構成の多層化をも果たした。貢献として取り上げられる例としては、モンゴルとフィリピンにおける虐待行為を容認する法律の改正や、ニュージーランドでのテロ被疑者の長期留置防止等がある。このような当フォーラムの機能は地域人権擁護組織のそれによく似ているが、東アジア国際関係において最有力国であろう日本、中国と台湾による、国内人権擁護委員会への参入を、まだ確保できていないことが大きな欠点である。中国の場合は、国内人権擁護委員会設立についての討論が学界内にとどまっている。日本と台湾の場合は国内人権擁護委員会設立について国会にも審議がなされ、法案が提出されていたが、どちらのケースにも法案成立に及ばなかった。

この研究の貢献は次の二点である。第一に、ボトムアップ型人権擁護組織であるアジア太平洋フォーラムの発展を紹介したことである。第二に、東アジアの人権擁護欠陥を克服する有力な方策として、共益関係にある二つの組織が共働するという進路を提案したことである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

- (1) Croydon, Silvia. “Towards a Regional Human Rights Mechanism in the Asia Pacific?: Exploring the potential of the Asia Pacific Forum”. *Pacific Review* Vol.27: Iss.2 (2014). pp.289-306.
<http://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/09512748.2014.893252#.U3Mdryhn3D8>
- (2) Croydon, Silvia. “The Death Penalty in a Changing Society: A Survey of Recent Developments in Japan”. *Contemporary Japan* Vol.26: Iss.1: (2014) pp.102-23.
<http://www.readcube.com/articles/10.1515/cj-2014-0005>
- (3) Croydon, Silvia. “Two Rights Paths: East Asia’s Emerging Regional Human Rights Framework”. *Asia Pacific: Perspectives* Vol.11 (August 2013), No.1, pp.22-35.
http://usf.usfca.edu/pac_rim/new/research/perspectives/app_v11n1.html
- (4) Croydon, Silvia. “A Step Change for Human Rights?: The Burgeoning Regional Human Rights Infrastructure of Asia”. *Eye Magazine: The International, Intercultural and Interdisciplinary Magazine of the International Academic Forum*. Issue 1 (Summer 2013) pp.20-21.
<http://iafor.org/Newsletter/iafor-magazine-issue-001-HD.pdf>
- (5) Croydon, Silvia. “The Establishment of a National Human Rights Commission in Japan”. *Hakubi News Letter #6* (September 2013) p.13.
- (2) Croydon, Silvia. 08/2013. *A National Human Rights Commission for Japan: Domestic and Regional Implications*. 9th Conference of the Nordic Association of Japanese and Korean Studies (NAJAKS), Bergen, Norway.
- (3) Croydon, Silvia. 07/2013. *Regional Human Rights Protection in East Asia* European Inter-University Centre for Human Rights and Democratization, Venice Academy of Human Rights 2013 “The Obligations of States”. Monastery of San Nicolò al Lido, Venice, Italy.
- (4) Croydon, Silvia. 12/2012. *Caught in a Turf War: Taiwan’s National Human Rights Institution*. Invited Lecture at Soochow University, Centre for Human Rights, Taipei, Republic of China.
- (5) *China’s Role in Asia’s Regional Human Rights Governance*. 12/2012. Invited Lecture at Beijing University, Law School, Beijing, People’s Republic of China.
- (6) Croydon, Silvia. 12/2012. *Setting an Example: South Korea’s Role in Human Rights Governance in Asia*. Invited Lecture at Graduate School of International Studies, Korea University, Graduate School of International Studies. Seoul, Republic of Korea.
- (7) Croydon, Silvia. 11/2012. *Institutions Intertwined: Evolving a Regional Human Rights Mechanism for East Asia*. Association for Asia-Pacific Studies 3rd Annual Conference. Hong Kong, People’s Republic of China.
- (8) Croydon, Silvia. 11/2012. *The Asia Pacific Forum of National Human Rights Institutions: A*

国際学会発表・講演：

- (1) Croydon, Silvia. 09/2013. *Examining the Establishment of National Human Rights Commissions in Japan and China: Prospects and Perils*. Joint East Asian Studies Conference (including BAJIS), Nottingham, U.K.

Regional Human Rights Mechanism for the Asia Pacific?, International Association for Asia Pacific Studies 3rd Annual Conference (ASPAC), Hong Kong, People's Republic of China.

Prospects of the Asia Pacific Forum. The Asian Conference on Asian Studies, International Academic Forum (IAFOR), Osaka, Japan.

(9) Croydon, Silvia. 10/2012. *Filling Asia Pacific's Human Rights Vacuum: The Prospects of the Asia Pacific Forum of National Human Rights Institutions*. Western Conference of the Association for Asian Studies Annual Conference (WCAS), West Yellowstone, Montana, U.S.A.

〔産業財産権〕

出願状況

(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

(10) Croydon, Silvia. 07/2012. *Closing the Regional Human Rights Gap in Asia: The Prospects for a Regional Human Rights Mechanism*. 44th Hakubi Seminar, Centre for Advanced Research, Kyōto University, Japan.

取得状況

(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

(11) Croydon, Silvia. 07/2012. *Two Rights Paths? East Asia's Emerging Regional Human Rights Mechanisms*. (Also, served as the chair of the session "Human Rights".) International Conference on Asian Studies (ICAS), Negombo, Sri Lanka.

〔その他〕
ホームページ等

N/A

(12) Croydon, Silvia. 07/2012. *Closing the Regional Human Rights Gap in East Asia: The Future of the Asia Pacific Forum*. Asian Studies Association of Australia (ASAA) 19th Biennial Conference, Sydney, Australia.

6. 研究組織

(1)研究代表者
Croydon Silvia
(クロイドン シルビア)

(13) Croydon, Silvia. 07/2012. *The Asia Pacific Forum: East Asia's Emerging Human Rights Structure*. 22nd World Congress of Political Science, International Political Science Association (IPSA), Madrid, Spain.

研究者番号：
00634643

(2)研究分担者
N/A

研究者番号：
N/A

(14) Croydon, Silvia. 06/2012. *Advancing Regional Human Rights Mechanisms: The*

(3)連携研究者
N/A

研究者番号：

N/A